



△三重公民館で開かれた役員会、活動計画など話し合う

## もっともっといい地域(まち)つくろう

### 里力 6 年目スタート 活動計画、役員決まる

5 月 9 日、本協議会役員会を開き、活動計画や役員体制などを決めて里力(さとぢから)6 年目となる平成 30 年度をスタートさせました。

人口減少や少子高齢化が進むなか、少しでも三重と森本が元気になるよう頑張ります。引き続き区民の皆さまのご協力をお願いします。

#### 《活動計画》

- ① 赤米の手植え、刈取り体験行事
- ② クリーン作戦
- ③ 大学・地域連携事業(龍谷大学)
- ④ 敬老祝い会、花いっぱい運動
- ⑤ 野菜づくりグループ「まんぐるわ」支援
- ⑥ 空き家の利活用・移住促進の取り組み
- ⑦ 付加価値米の生産・ブランド化
- ⑧ HP 作成、その他(新規)事業

#### 《役員》12 人

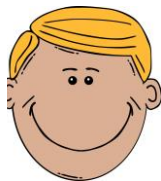
会 長	新田良文
副会長	田崎喜芳
〃	糸井 錦
事務局長	丸井洋市
幹 事	岡田志朗
〃	糸井正彦
〃	谷口富夫
〃	河島隆雄
監 査	西垣和生
〃	芦田完二
庶務会計	矢野義則
〃	糸井嘉彦

#### 《協力員》役員経験者 8 人

糸井照雄 糸井徳政 谷川美代子  
 糸井圭子 井浪善之 富田忠男  
 田崎由美子 矢野朋子

〈敬称略〉

会長の  
新田良文  
です



### 将来展望をもち 楽しく活動

平成 25 年に始まった三重・森本里力再生協議会の活動が 6 年目を迎えました。どの地域でも抱えている様々な課題があります。三重・森本の両区がそれぞれの事業や行事を通して、住みやすく楽しい区を運営していくことを基本に置きます。そして、区単独ではできない事業や両区が力を合わせるからできる事業を里力再生協議会として取り組んでいきたいと考えています。

楽しく活動できることを大切に、将来への展望をもってすすめています。地域の皆さんのご協力をよろしくお願いします。

#### お知らせコーナー

- 6 月 24 日(日)午後 7 時～、三重公民館で第 3 回空き家利活用・地域づくり住民座談会を行います。両区民対象の行事です。たくさん来てください。
- 7 月 18 日(水)、移住の先進地、綾部市志賀郷地区などにバスを借り切って視察に行きます。参加者を募りますので、希望者は役員まで。
- 念願の三重・森本里力再生協議会のホームページを作ります。詳細はこれからですが、お手伝いしていただける人はご連絡ください。

# 10年間で三重53人減 森本54人減

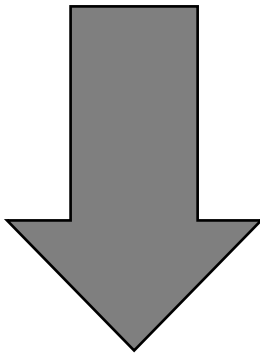
～～ 人口ピラミッドで何を感じますか ～～

## 三重 人口ピラミッド

平成 20 年 5 月 1 日

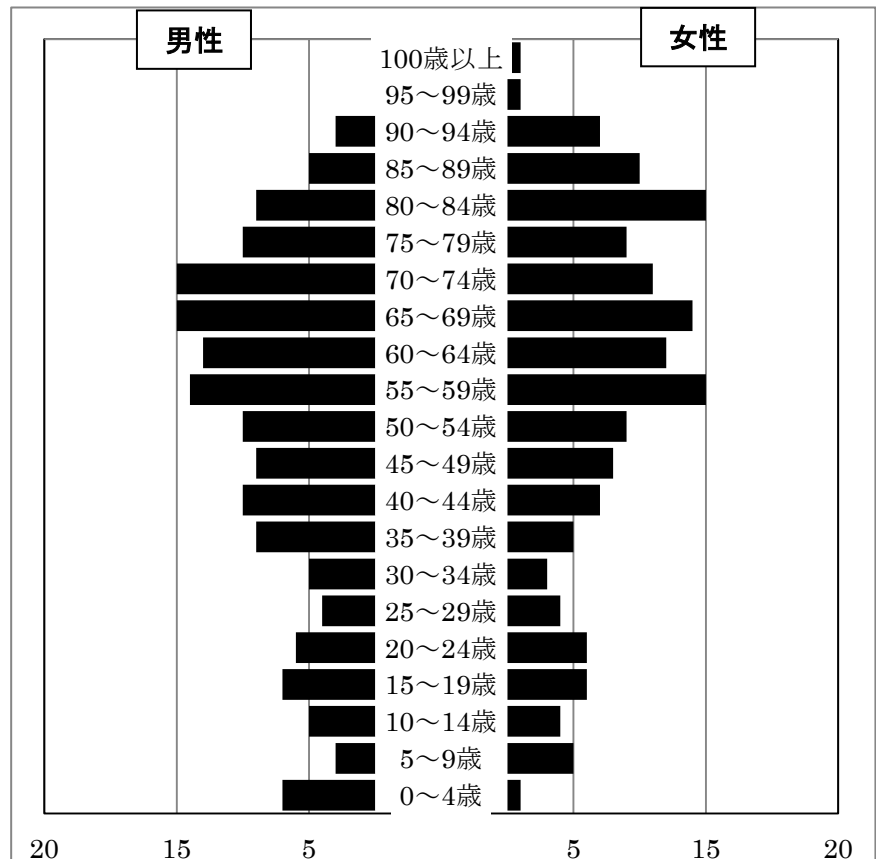
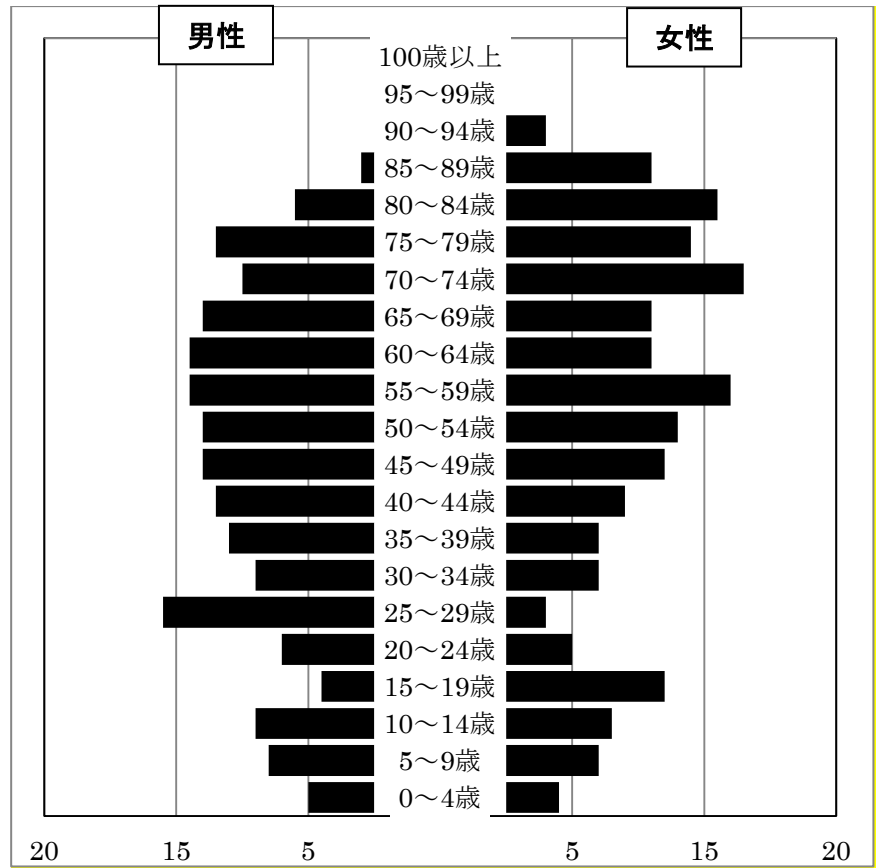
男性 177 人  
女性 188 人  
合計 365 人

10年間で  
53人減少



平成 30 年 5 月 1 日

男性 159 人  
女性 153 人  
合計 312 人



今年と10年前の人口を比べてみました。三重で53人、森本で54人減っています。当地域に限ったことではないが、とくに子どもの数が少なくなっています。こうした傾向から10年、20年、30年先の三重・森本の人口構成がどうなるのか、およその見当がつかます。

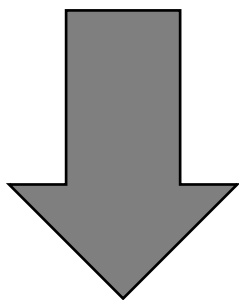
人の数が減るのを止めるのは難しいですが、元気で楽しい地域にすることは私たちの力でできます。子や孫に負担を残さない地域づくり一緒にすすめましょう

## 森本 人口ピラミッド

平成 20 年 5 月 1 日

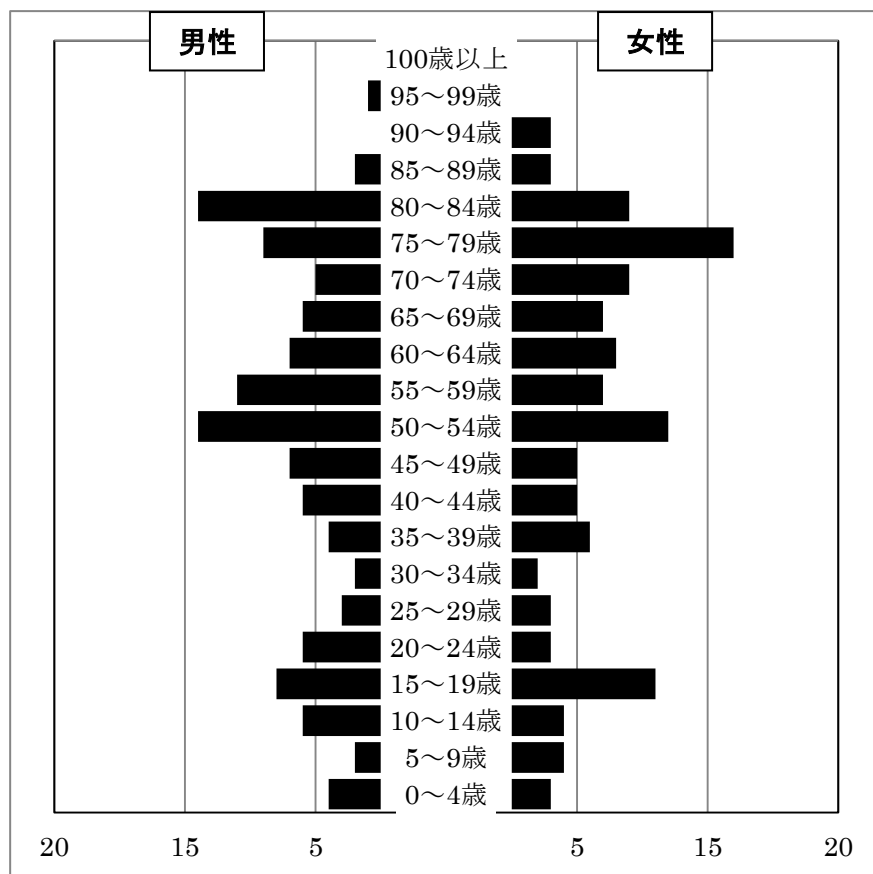
男性 117 人  
女性 121 人  
合計 238 人

10年間で  
54人減少



平成 30 年 5 月 1 日

男性 93 人  
女性 91 人  
合計 184 人



## 野菜づくりグループ 「まんぐるわ三重・森本」

毎月第三土曜日、8時から

昨年7月15日から始めた軽トラ朝市。多くの皆さまのお力添えをいただき、まもなく1周年を迎えます。これからもこだわりの野菜づくり頑張ります。次は6月16日(土)、引き続きよろしくお祈いします。

軽トラ朝市  
お蔭さまで1周年

## 空き家所有者アンケートや 住民座談会など実施

本年3月、空き家活用で地域づくりをすすめる「移住促進特別区域」に三重・森本地域が指定された。地域の課題である空き家の増加や人口減少、担い手不足を解消する対策のひとつ。

取り組みは、年初めから「三重・森本移住促進協議会」(6人)で進め、空き家調査から空き家所有者の意向調査、区民対象の座談会など様々な活動を展開しています。

5月末までに行った主な取り組みを報告します。

- ① 空き家の調査、台帳整備(19軒)
- ② 当地域への移住希望者と面談、空き家見学
- ③ 移住希望者向けガイドブック「集落の教科書」作成(2,000部)、全戸配布
- ④ 空き家所有者へ手紙送付(2回)、空き家所有者意向アンケート調査(1回)
- ⑤ 移住受入れ講習会参加
- ⑥ 空き家利活用住民座談会(公民館で2回)
- ⑦ ミクタン参加(森本の空き家で)

※ この取り組みは、空き家所有者の皆さまのお気持ちやご意向を最優先に考えています。

## 龍大生が森本水路の泥上げ



クワを手に水路の泥上げをする学生

5月25日から二泊三日の日程で、龍谷大学政策学部学生16人が三重公民館で合宿。森本水路の泥上げ作業(写真)やEMボカシ作りなどに汗を流しました。今年度も6回の合宿を計画。GPO 吟米農法の見える化や地域活動の手伝い、住民交流などを行います。

### 若者グループ

## 「三重・森本里力プロジェクト」誕生

三重・森本地域の将来に向けて活動を進めていくためには、次につながる地域の若い力が必要です。

三重・森本里力再生協議会活動へ協力の呼びかけを行い、5月12日、地域の若者グループを結成しました。その名は「三重・森本里力(さとちから)プロジェクト」。現在は、30代から50代まで8人ですが、その輪を広げていけたらと思います。毎日の仕事や生活で多忙ななか、まずは龍谷大学生と地域の若者との交流を主にして活動を行っていきます。

### 三重・森本里力再生協議会 平成29年度の活動報告

新たな活動として、

- ① 龍谷大学地域活動と連携した「ゲンゴロウ郷の米」生産・ブランド化に向けた取り組み
- ② 当地域に増加している空き家の利活用に向けた取り組み。
- ③ 女性グループ「まんぐるわ三重・森本」の軽トラ朝市の実施

を取組みました。

龍谷大学地域活動は、平成二十七年七月からおよそ二年間の調査を行い、特定農業法人アグリ協力の協力・支援を受け付加価値米生産の取り組みに前進しました。

空き家の利活用の取り組みは、三重・森本地域が京都府から里の公共員の配置(平成三十年一月)、府移住促進特別区域の指定(平成三十年三月)を受け、上記記事のとおり様々な取り組みを進めてきました。

「まんぐるわ三重・森本」の軽トラ朝市は七月から開始し十二月まで計七回行い、毎回多くの集客でにぎわい、市内や近隣地域からも好評を得て定着してきています。

従来から取り組んできた地域の小学生に呼びかけ実施している赤米の手植え・手刈り体験行事やクリーン作戦、敬老祝い会や花いっぱい運動の取り組みなどと合わせ、元気な人づくり・地域づくりの実現に向けた活動を行ってきました。